



平成27年 6月22日 NO・38

〒311-1114 水戸市塩崎町1016

TEL029-269-2116 FAX029-269-3160

Mail tunezumi-j@magokoro.ed.jp

【ホームページで、カラー版が見られます】

事故ゼロを目指そう (今がその時)

「上級生が先輩である」、「そんなこと当たり前じゃないですか」と思うでしょう。しかし、先輩とはどのようなことなのでしょう。国語辞典では次のように出ています。

先輩(せんぱい)

- ① 年齢や学問・技芸などが、自分より上である人
- ② 同じ学校などを先に卒業した人
- ③ 同じ職場に先に入った人

さらに『ウィキペディア』で調べてみると、

「先輩とは新人に会社のルールなどを教える。後輩の面倒を一生懸命みるころやさしい先輩が後輩の支え・助けとなる」とあり「社会では、先輩は後輩を保護し後輩は先輩を立てるといふ社会の最も基本的な慣習のひとつがある。」と記されていました。

そして、「(学校)における「先輩」「後輩」というものは、まだ見ぬ社会の構造を学ぶには、本来うってつけのものであるともいえよう。」ともありました。

そこで、次のある中学校の1年生が書いた作文(班日誌)を読んでください。

5/1 先パイを見習え!!

大なわの朝練に、陸上の練習、部活、15分間走、朝おら、チャリ通... 皆々中学生は忙しい! 正直体カヤバイです。それに、今日初めて部活に参加してみても、あー大変だということが分かりました。GWまでもつでしようか...

そこで思ったのは、「先パイから学ぶ」ということです。4月28日の『学校だより』ではありませんが、「やっぱりスゴイ!」と思うのと同時に、「先パイだってやってるんだから...」と影響を受け、がんばっていかないといけないと思いました。又、今日の部活を通して、「私達一年は何も分からず右往左往していた...」「やっぱり先パイを見て学んでいくしかないのかな?」と思いました。

大縄では、先パイから学ぶコトがあると思います。まず一つ目は、さんと同じコトですが、二つ目は、「みんな楽しんで下さい」です。先パイ方を見ると、みんなシンケンに楽しくやっています。それを見習いたいです。そうすればみんなやる気が出て、ちゃんとできる(男女別、仲よし別でなかつたり)と思います。

まだまだ先パイを見習わなくてはイケナイところはたくさんあります。でも、それができれば学校生活をよりよくできると思います。

上級生のみなさん、どうですか。1年生は、みなさんのことをしっかりと見ているものです。(もちろん今の2, 3年生もしっかりと先輩を見てここまでできました。)

ただ年齢が上だというだけでは、真の意味での先輩とはなれないのです。

上記①に示した「学問・技芸(そして何より、心の在り方の芯の部分)」に、一目置かれなくては真の意味での先輩にはなれません。

市の総体が終わり、生活に一つのくぎりが付いた今朝、校門に立っていて気づいたことがあります。

それは、ヘルメットのおごひもが纏い人、(おごに引っかけただけの人を含む)が、12名いたという事実です。

299名中12名です。

多いと感じますか、少ないと感じますか?

問題は、その12名がほぼ固定化していること。そして、学年で、学級で、個人的に指導を受け続けて、今だに修正ができていないことに感じています。

全ての教師は、学校生活上一番悲惨な出来事は事故であることを知っています。それは、少なからず悲惨な事故に出合ってしまったからです。ですが、生徒の皆さんはおそらく「自分だけは大丈夫」という気持ちがどこかにあるのではないかと思います。

そこで是非とも皆さんの力を借りたい。一人一人が自分を守るためにはもちろん、後輩を守るため、先輩としてふさわしい行動を示していただきたい。

先輩とは、後輩に背中を語る人を指すのですから。

(事故が起こる前に、ご家庭でもぜひ話題にしてみてください。)